



漁業協同組合組合長の皆さん（左から）渥美漁業協同組合組合長 朽名勇夫さん、中山漁業協同組合組合長 清田洋三さん、愛知海外漁業協同組合組合長 吉武正康さん、小中山漁業協同組合組合長 川口正康さん

皆で力を合わせることで、
大きな目標に向かって進んでいくことができる。
子どもたちに豊かな海を残すために。



清田地区の潮干狩り（弁財ヶ浜）

海に触れ、海を知る
未来の漁師たちへ

4漁協では、啓発活動にも力を入れています。福江小のノリ作り体験、泉小・中山小・清田地区の潮干狩りなど、子どもたちが海や漁師の仕事に関心を持てるよう、活動に協力しています。

また、地域とのつながりも大切にしており、潮干狩り場の開放や海洋工事の監視船の派遣、海水浴場のサメ避けネットの設置、トライアスロン伊良湖大会などに協力しています。

「海のことでは協力できることは何でもやるよ」と組合長たちは意気込んでいます。

海はつながっている
皆で力を合わせて

田原市の漁協は、平成21年の合併により4漁協となり、大きな事業が実施しやすくなりました。現在は、各漁協の枠を越え、力を合わせ将来を見据えた漁業に取り組んでいます。

「田原市は農業だけではない。漁業も頑張っている」ということを知ってもらうため、もっと海に目を向けてもらいたい」と話してくれた組合長たち。



早朝、漁へ出る船

皆さんも、目の前に広がる海の恵みをぜひ味わってください。新鮮な魚介類が手に入る田原市ならではのおいしさに出会えるはずです。